

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日: 2019年 3月11日

<p>テーマ名</p>	<p>中小企業の経営課題や改善策を抽出する「企業診断モデル」の開発Ⅱ</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>ITC札幌有限責任事業組合</p>	
<p>成果物公開URL</p>	<p>https://www.itc-sapporo.jp/download/%E4%BC%81%E6%A5%AD%E8%A8%BA%E6%96%AD%E3%83%A2%E3%83%87%E3%83%AB2/</p>	
<p>当活動代表者及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名) 佐々木身智子 電話番号: 090-7658-9641 e-mail: sasaki@itc-sapporo.jp</p>	<p>(担当者氏名) 風間 孝啓 電話番号: 090-9528-1832 e-mail: kazama@itc-sapporo.jp</p>
<p>研究・調査成果概要</p>	<p>昨年度開発した「企業診断モデルⅠ」は、ITコーディネータが企業関係者にヒアリングを行い、その結果に基づき診断項目毎に「成熟度」、「診断の根拠」、「成熟度を上げるためのポイント」を記述した後、その診断結果から企業へ提出するレポートを容易に作成できるよう、レポート用紙上に診断結果を円グラフで描く等の工夫を加えたものである。当企業診断モデルは、ITコーディネータが診断を行うことを前提に作成したが、中小企業が自己診断するケースも想定される。そこで、今年度開発する「企業診断モデルⅡ」については、 (1) 中小企業が自己診断可能な経営成熟度診断シート (2) 昨年度未検討であった「業務プロセス」に係わる診断シート(製造業)の2シート構成とした。 また、昨年度の成果物と同様、成熟度が低い場合に、成熟度を上げるために必要なITツールを例示し、IT経営の参考にしていただけるよう工夫を加えた。</p> <p><活動状況> (1) 中小企業が自己診断可能な経営成熟度診断シートG <1>グループメンバー及び分担 風間(リーダー)、渡辺、村形、山崎、長島、高田の5名でレビュー&改善を実施 <2>実施報告 昨年度作成した経営成熟度診断シートに関して、中小企業が自己診断できるよう「成熟度評価基準」の内容を改善し、かつ課題解決につながるITツール類の例示を追加した診断シートを使い、昨年10月~11月に札幌商工会議所の会員企業4社(北海道ポラコン(株)、(有)山下組、(株)辻プラント、(株)小林正男商店)を対象に経営成熟度診断を行った。その結果、4社ともにトップが企業を支えるものの経営成熟度は高くないことが判明した。また、各経営者から、ITコーディネータのアドバイスを受けないと自己診断は難しいとの評価も頂いたので、更なる改善が必要との結論に至った。</p> <p>(2) 業務プロセス診断シートG <1>グループメンバー及び分担 ①マーケティング(梁瀬)②既存ビジネスの拡大(南)③新規ビジネスの拡大(山崎)④顧客対応力(山田)⑤新商品開発力(住)⑥オーダーメイド品生産力(久蔵)⑦リポート品生産力(寺中)⑧取引先とのデータ連携(佐々木)⑨企業間連携力(笠原) <2>実施報告 9/4 第1回ミーティング ワーキンググループ立ち上げ・方針確認 11/7 第2回ミーティング ビジネスプロセス診断のアウトライン決定 (この間に各自ワーキング作業を実施) 1/22 第3回ミーティング 最終意見集約・まとめ この他に、実際の製造業の現場訪問を実施し、業務プロセスの課題についてのヒアリングを実施した。 対象企業: 極東高分子株式会社(小樽市銭函2丁目56番1号)創業: 1965年9月1日 資本金: 1億6,500万円 従業員: 275名 年商: 74億3,600万円 訪問ヒアリング日: 10/10、10/22、12/6 全3回</p>	
<p>成果物</p>	<p>(1) 中小企業の経営課題や改善策を抽出する「企業診断」モデルⅡ(第2版) (2) 中小企業の経営課題や改善策を抽出する「ビジネスプロセス診断」モデル(製造業)(初版)</p>	

* 青字は事務局で記入します。

<p>事務局受付日</p>	<p>2019/3/21</p>
<p>案件番号</p>	<p>S18002</p>